

船舶事故調査報告書

令和2年9月16日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故種類	浸水
発生日時	令和2年2月10日 11時00分ごろ
発生場所	和歌山県和歌山市加太港北西方沖 地ノ島灯台から真方位095° 900m付近 (概位 北緯34° 17.8' 東経135° 04.1')
事故の概要	プレジャーボート ^{ステップ} Stepは、北東進中、船内に浸水した。
事故調査の経過	令和2年2月28日、主管調査官（神戸事務所）を指名 原因関係者から意見聴取実施済
事実情報	
船種船名、総トン数	プレジャーボート Step、5トン未満（長さ2.37m）
船舶番号、船舶所有者等	第250-58885号（船舶検査済票の番号）、個人所有
乗組員等に関する情報	船長、一級小型・特殊・特定
負傷者	なし
損傷	船外機に濡損
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 西、風力 5、視界 良好 海象：波高 約2m 和歌山県には、令和2年2月10日04時03分に強風注意報が発表され、本事故当時も継続中であった。
事故の経過	本船は、船長が1人で乗り組み、同乗者1人を乗せ、2人とも救命胴衣を着用し、和歌山県加太瀬戸で釣りを終え、帰港する目的で約8km/hの対地速力で北東進中、左舷船尾方から波高約2mの波を受け、船内に海水が打ち込んで滞留した。 船長は、バケツで海水を汲み出したものの排水作業が浸水量に追いつかず、転覆する危険を感じたので船体を放棄し、同乗者と共に海中に飛び込み泳いで岸にたどり着いた。 本船は、乾舷が約10cm～15cmであった。 船長は、出港前に昼頃から時化てくる気象及び海象情報を入手し、10時30分ごろには釣りを終える予定であったものの、釣果があまりなかったので多少くらい遅れても帰航に支障はないと思い、釣りを継続したので、帰航を開始する時機が遅れたと本事故後に思った。
分析	本船は、強風注意報が発表されている状況下、船長が、釣果があまりなく釣りを継続したことから、帰航を開始する時機が遅れ、発進して北東進中、左舷船尾方から波高約2mの波を受けて海水が打ち込み、船内に浸水したものと考えられる。
原因	本事故は、本船が、強風注意報が発表されている状況下、船長が、釣果があまりなく釣りを継続したため、帰航を開始する時機が遅れ、発進して北東進中、左舷船尾方から波高約2mの波を受けて海水が打

	ち込み、船内に浸水したものと考えられる。
再発防止策	今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。 ・天候の悪化が予想される場合は、早めに帰航すること。